

# 甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

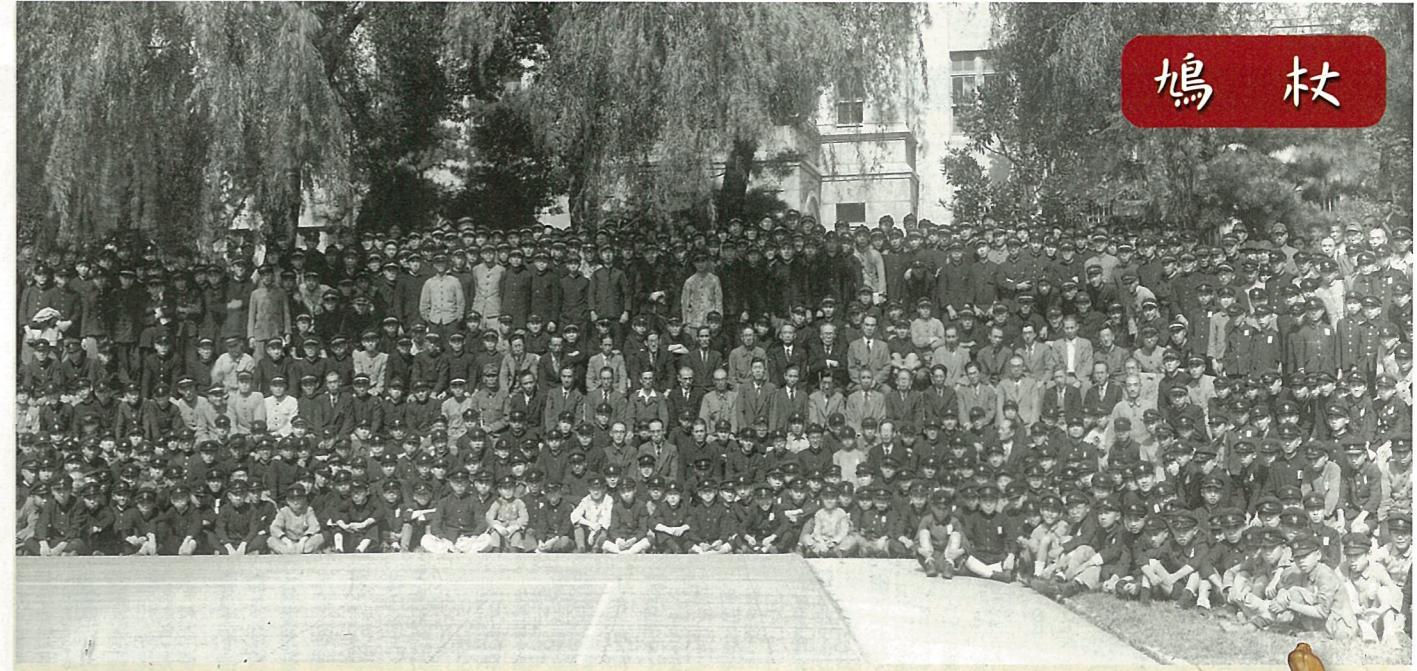
No. 28  
2007 OCT.

## 甲南の新たなスタート。 新学部にクローズアップ!



甲南Today No.28

2007年10月15日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)

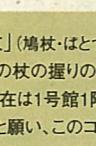


▲1944年10月9日 平生校長退任式記念「平生先生と全生徒・教職員」



中井 久夫 先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文部省人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県立のケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鉄三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいている。



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>

鳩 杖

# 甲南の新たなスタート 新学部にクローズアップ!

来年度の知能情報学部開設をはじめ、いま甲南大学ではさまざまな新学部の開設準備が進められています。新しい学部はこれまでにないどんな学びを実現するのか、それにより甲南にどんな伝統が加わるのかなど、ここでは気になる新学部の詳細についてご紹介していきます。

P4



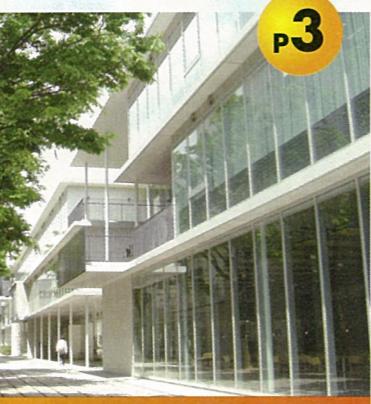
2009年度★マネジメント創造学部開設(予定)

P5



2009年度★フロンティアサイエンス学部・研究科(仮称)開設(予定)

P3



2008年度★知能情報学部開設

昨年11月、甲南学園からトウレーヌ校長への就任依頼があったとき、私は直ちに、フランスに日本人のための高校があることの意味と再認識した。実際、フランス側から見れば、計り知れないほど価値がある。現在、在日フランス大使館は、日仏間の高校生交流を積極的に推進しているが、日本語を勉強している、あるいは日本に関心のあるフランスの高校生にとって、フランス国内に「日本」があり、そこに同世代の日本人がいて、しかも彼らはフランス語を勉強している、これはまさしく夢が現実のものとして存在しているといつても過言ではないだろう。フランス甲南学園トウレーヌ校は、日仏友好の根幹を支える存在なのである。

このことを証明するものに、ワリゼ条約がある。1963年にフランスとドイツの間で締結されたこの条約は、独仏両国の和解を形にし、握手のないものとして示すことが目的である。言うまでもないことだが、それにとどまらず、現在のEUヨーロッパ連合の理念

## FOCUS

### フランス甲南学園 トウレーヌ高等部・ 中等部校長に 横山氏が就任

フランス甲南学園トウレーヌ  
高等部・中等部校長  
横山 理

## 2 What's new Konan

### 2 News,1 甲南の新たなスタート 新学部にクローズアップ!

2008年度★知能情報学部開設

2009年度★マネジメント創造学部開設(予定)

2009年度★フロンティアサイエンス学部・研究科(仮称)開設(予定)



### 6 News,2 経営学部のプログラムが現代GPに採択 仮想企業を経営し、実践力を培う

### 7 News,3 「ネットワークキャンパス東京」が サピアタワー(東京駅直結ビル)に移転

### 9 News,4 2006年度「現代GP」に採択された 甲南キャリアデザイン教育の最前線

### 11 高・中TOPICS ラグビー部オーストラリア遠征

### 甲南ラグビー部、チームプレーで世界に挑む

### 12 フランス甲南学園トウレーヌだより 夏期フランス語特別講習会 夏休みを利用して、集中的にフランス語をマスター

### 13 なるほど甲南アカデミア 未知の素材の性質を照らし出す光

### 15 こちら甲南特捜部 リニューアルした図書館、以前とどこが変わったの

### 17 創部から未来へ甲南クラブステップ(写真部) カメラに収めきれない想いを、ファインダー越しに見つめて

### 19 It's KONAN STYLE 「モノから学べ」。 その言葉は、私の生き方になりました

### 21 甲南フォーラム

表紙の絵 ● 西井 義晃 画  
「10号館」西井 義晃さん プロフィール  
1961年甲南大学経済学部卒業  
元自由美術会員

●西井 義晃展 2007年10月22日(月)~27日(土)  
東京銀座、文藝春秋画廊  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-5-12  
TEL.03-3571-6493(1階)  
TEL.03-3571-6495(2階)

次のURLで作品集をご覧いただけます  
<http://webgarou.net>



# News 2

## 経営学部のプログラムが現代GPに採択 仮想企業を経営し、実践力を培う。

現代GPとは文部科学省による「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の略称。社会的要請の強い課題に対して取り組んでいる各大学の活動の中から、とくに優れた教育プロジェクトが同省に選定され、財政支援を受けています。甲南大学では経営学部の計画する「実践的経営シミュレーション演習プログラム」が平成19年度の現代GPに採択されました。

経営学とは本来、実践的な学問であるにもかかわらず、「これまでの大学における経営学教育は学究的な側面に重点が置かれる傾向があり、現実のビジネスとのギャップが生まれました。「実践的経営シミュレーション演習プログラム」はこの課題に対する具体的な解決策です。本プログラムではまず第に、WEB上に仮想企業（ミニマル・3年次生向け、経営シミュレーション演習）のコミュニケーション（ミニマーニュ）を設定。当演習の参加者は2年次後期からはじまる通常のゼミナールと連動しており、各ゼミから1名ずつが経営シミュレーション演習の各グループには、金融や財務会計、マーケティングなどそれらの専門性を持つ学生が横断的に集まる」となるわけです。

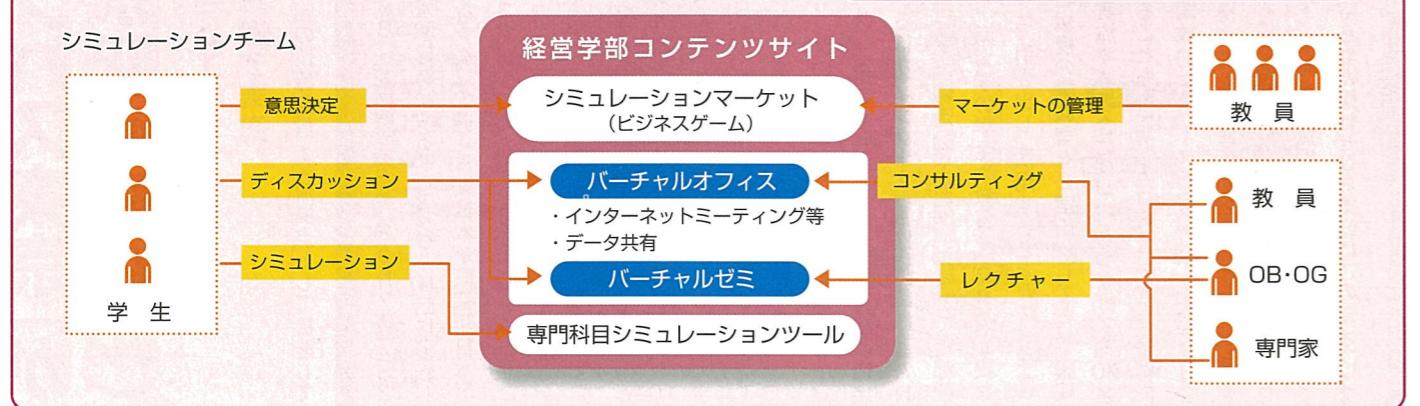
第二回に、こうして集まった各グループが、「企業経営シミュレーションプログラム」により、WEB上で仮想企業を実際に経営します。その中では、現実レベルのさまざまな課題が生まれます。学生たちは仲間と力を合わせながら、これを解決していく体験を通して、机上では学べない実践力を培っていきます。また、当プログラムで学習をサポートするのは大学の教員だけではありません。普通の学生生活ではなかなか接することのできない、社会の一線で働くOB・OGや専門家がさまざまなアドバイスを行っていく体制を整えています。

シミュレーションプログラムでは、これまでのアプローチで経営学の学びの新しい可能性を実践します。



### これまでにない経営学教育を実現する 実践的経営シミュレーション 演習プログラム

- point 1** 仲間と共に、WEB上に仮想企業を経営し、実践的経営能力を身につける
- point 2** リアルゼミとバーチャルゼミの2本立てによりコミュニケーション力を培う
- point 3** 実社会で活躍する甲南OB・OGや専門家からのサポートを受け、現場に即して学ぶ



## 2009年度 フロンティアサイエンス学部・研究科(仮称)開設(予定)



### 次世代をリードする 融合領域を新拠点で学ぶ。

2009年には、ポートアイランドで新たな学びがスタートします。新学部の名称は、フロンティアサイエンス学部（大学院フロンティアサイエンス研究科も設置）。次世代科学のカギを握ると⾔われるバイオテクノロジーとナノテクノロジーの融合理系領域（ナノバイオ）の学問を学びます。

従来の大学では、物理、化学、生物などそれぞれの学問分野ごとに、未知を理解していくことが目的となっていましたが、この融合領域の新学部では、未知の科学現象の解明とともに、身につけた知識をいかに活かすかをテーマとしています。

### 学生自身が最先端を創造し、発信する。

このような学びを実践していくフロンティアサイエンス学部では、学び方自体もまったく新しいスタイルを採用。第一には教授から一方的に教わることではなく、学生が自ら最先端に触れ、創り、発信することを目的に、1学年を45名の少人数クラスに設定しています。また一人ひとりが自身の研究場所（マイラボ）を持ち、疑問や課題があればすぐに研究に取り組める環境を用意します。新学部の略称はF-R-E-S-T (Frontiers of Innovative Research in Science and Technology)ですが、まさに「一人ひとりにファーストクラスの学びを提供する学部」と言えるでしょう。

この新学部は、ナノバイオ研究拠点であるF-B-E-Rと密接に連携し、また医療創薬・食品・化粧品産業などの研究の集積地であるポートアイランドの立地を生かし、さまざまな企業や他大学研究機関との連携も期待されます。このような知的交流を通して、「夢を想像し、サイエンスで創造する」人材を育んでいきます。

### 「チャレンジするフロンティアたち」 を育てる4つのポイント

- point 1** 一人ひとりに大学生活の指定席を  
マイラボ
- point 2** 業界第一線の先駆者たちに学ぶ  
フロントランナー講座
- point 3** 学会・シンポジウムへの参画  
サイエンスライブチケット
- point 4** 近隣の企業・大学などと共同研究  
アイランド・シップ教育連携

### ナノバイオを社会に活かす力を 着実に身につける3つのコース

- | デキる理系                              | ワカル理系                     | イカす理系                    |
|------------------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 研究者コース                             | 技術・開発コース                  | コーディネータコース               |
| 専門分野を絞り、その分野を深く学び、複数の科学技術分野に精通していく | 主専門分野に加え、複数の科学技術分野に精通していく | 広範な科学技術について豊かな知識と実践経験を獲得 |

※以上はすべて予定であり、変更の可能性があります。

## 一線の研究者と ナノバイオ分野を探求。 ファーストクラスの学びを提供する。

## ますますサポート力UP! 4つの機能

### 卒業生との交流と連携

首都圏で活躍する卒業生の方々同士の交流をお手伝いするとともに、首都圏在住の卒業生と大学、および現役生とのネットワークを構築していきます。例えば、就職活動学生のためにOB訪問の機会も創出していく予定です。

### 首都圏での就職活動支援

甲南大生が首都圏で就職活動を行う際のサポート拠点として機能。具体的には岡本キャンパスと同様に、就職情報の提供や企業訪問時のアドバイス、各種証明書の発行などを実施するほか、リクルートスーツに着替える更衣室も完備しています。

### 遠隔教育で大学と知的交流

講義・公開講座・講演会などを開催し、知的交流の拠点として機能していきます。甲南大学が持つ知的財産を首都圏に発信していくと共に、岡本キャンパスとの通信回線により、東京で行われた講義を神戸の大学で受講することも可能です。

### 首都圏企業との産学連携

甲南が関西地域に限らず、より広く、密接に社会と結びついていくために、首都圏企業に対して情報を発信し、協力関係を構築していきます。また情報発信だけでなく、産学連携のプロジェクトの実現も積極的に推進していきます。

## さらに充実した施設・設備



◆常駐スタッフに気軽に声をかけてください。ささいな相談にも親身に対応します。

◆学生、教員、卒業生、企業の方々による交流の場としてご利用いただけます。

◆70名が収容できる講義室。岡本キャンパスと双方向で遠隔講義が受けられます。

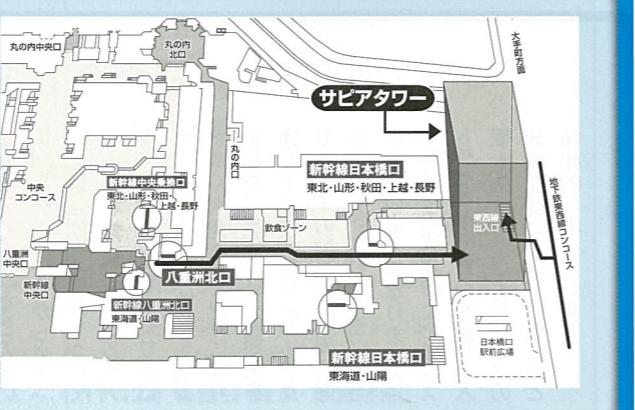
### ACCESS

JR 東京駅日本橋口に直結!  
東京に不慣れな人も、迷わず利用できます。

免許証等の本人確認できるもの(本学関係者の場合は、教職員証・学生証)をご持参の上、サピアタワー3階の総合受付でご提示いただき、10階にお上がりください。または、下記まで電話・メールにて事前連絡いただければ、入館がよりスムーズになります。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7-12  
サピアタワー10階

TEL:03-6266-9520  
e-mail:nctokyo@adm.konan-u.ac.jp  
URL:<http://www.konan-u.ac.jp/tokyo/index.html>

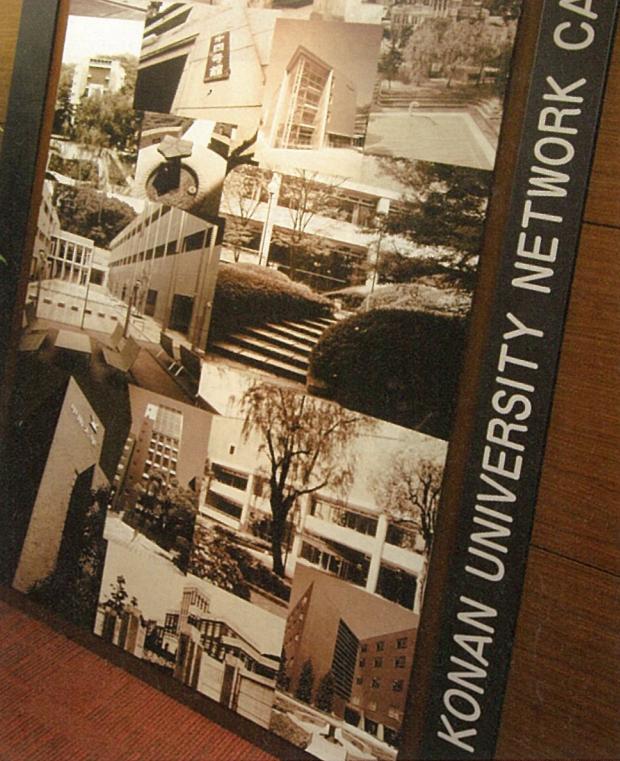


一般社会人・学生向けに公開講座を実施。  
東京でも、広く学びの場を提供しています。

各界の専門家として知られる教授・識者による公開講座を、ネットワークキャンパス東京内にて随時開催しています。例えば連続講座となった「空間経済学と新世紀」では、新世紀における世界と日本のさまざまなお題について考察。また、「東大寺ファイールドワーク公開講座」では、仏教の歴史・文化を学び、東大寺を觀ります。今後もバラエティに富んだ講座を開講していく予定です。期待ください。

### 多数の教育関係者ご列席の下、開所式を開催。

7月25日(水)、ネットワークキャンパス東京のサピアタワーへの移転を記念して、開所式が開催されました。式典には文部科学省、マスコミ関係、同窓会および吉沢理事長ほか学園関係者など約120名の出席があり、厳かな式のうち、藤田昌久氏(独立行政法人経済産業研究所所長、甲南大学教授)の記念講演会や施設見学、祝賀会が催されました。



## News 3

首都圏の情報発信・交流拠点として機能してきました「甲南大学ネットワークキャンパス東京」が、サポートをさらに充実させるため、2007年7月2日より東京駅に直結するサピアタワー10階に移転しました。サピアタワーはJR東日本が東京駅日本橋口に今年3月に開設したビル。「サピエンス(知性)」をテーマに知の集積拠点としての設備を充実させていくことに加え、東京駅からのアクセスが抜群によく、利用しやすくなるため、「甲南大学ネットワークキャンパス東京」の移転先として選ばれました。8~10階は大学フロアと位置づけられているため、甲南大学以外にも日本中の大学のサテライトキャンパスとして機能しています。

新オフィスの設備は、岡本の甲南大学のサーバーにアクセスし、情報を共有できるネットワーク環境が整っているほか、インターネット接続、無線LANの接続も可能。就職活動や研究活動などで首都圏を訪れた甲南大学の学生や教員が、自分の必要な情報をここで引き出し、活用することができます。また、30名規模の講義室を2室用意しており、講演会などを実施する場合には、二つをつなげて約70名に対応することも可能です。コミュニティエリアは従来以上に開放的なスペースを実現。甲南大学ではこの新たな拠点をキーステーションに、さらに手厚く首都圏における情報発信・交流を進めていくことをめざします。本誌をご覧の卒業生・現役生の方も、東京駅に寄られた際はぜひお気軽にこの新オフィスにお立ち寄りください。

# 「ネットワークキャンパス東京」「サピアタワー(東京駅直結、ビル)に移転。」



ほかにもこんな活動を実施

卒業生の方々からもご協力をいただいている!

## 専門職の先輩たちとの交流会

7月7日(土)、キャリアセンターでは国家資格を持ち、専門職に就いて活躍しておられる甲南大学OB・OGと現役生との交流会を開催しました。当日は弁護士・公認会計士、税理士・司法書士・弁理士・社会保険労務士・不動産鑑定士・行政書士・土地建物調査士・中小企業診断士・建築士の方々にそれぞれブースを担当していただき、参加した学生は関心のある専門職のブースを訪問。実務の内容について伺つたり、進路実現の貴重なアドバイスをいただいたり、貴重なナマの情報を提供いただきました。学生たちは「先輩が尊敬できることをされていて、自分も弁護士になりたいと思った」「実際に税理士の仕事をされている方のお話は新鮮で、とてもためになつた」「親切に教えてくださいたれしかった」という



自分で磨くためのテキストBOOKも発行!

## Career Design Book・マナーブック



学生が自分自身の進路を考え、設計していく上で、心強いナビゲーターとなる「Career Design Book」を独自に編集し、2007年度入学生から配付しています。また、社会人として不可欠なマナーを綴った「マナーブック」も配付し、社会人としての第一歩を気持ちよくスタートしてもらうためのサポートを行っています。

甲南大学ではこれまで経営学部において、インターンシップやボランティア活動に取り組む学生に単位を認定してきました。しかし2007年度からはより多くの学生にこの貴重な体験に参加してもらうため、経

## インターンシップ・ボランティア科目 Internship Volunteer

実際に社会とかかわり  
その中で経験的に学ぶ

喜びの声がキャリアセンターに続々と集まっており、刺激的な交流の機会となつたようです。来年度以降も、このような会を継続して、国家資格を持つ活躍されている先輩と学生との絆を深めていきたいと考えています。「協力くださった卒業生の方々に深くお礼申し上げます。

當学部だけでなく、文学部、経済学部、法学部においても同様の科目を開講しています。それが、新設されたインターンシップ・ボランティア科目。単位認定は学部によって取扱いが異なりますが、夏期休暇期間を利用して60時間以上の活動を行うこと、活動に関するレポートの提出などが義務づけられます。実際に企業に訪ね、仕事を体験するインターンシップは将来自分が「働く」イメージを具体的にすることができます。ボランティアについても受け入れ先探しから自分で行き、自ら行動する力を育んでいくことができます。

## プログラムのスケジュール

- 4月 ガイダンス(全体の流れや手順について)  
受入企業・団体研究
- 5月 登録票の提出
- 6月 体験報告会  
エントリーシートの作成・参加申込  
面接・選考
- 7月 事前研修  
ビジネスマナー講座
- 8・9月 インターンシップ／ボランティアの実施
- 10月 事後研修(活動の成果の取りまとめ・発表)  
単位認定申請／レポートの提出
- 11・12月 報告会(経済・経営学部)



News 4

# 2006年度「現代GP」に採択された 甲南キャリアデザイン教育の最前線

昨年度に、現代GPに採択された甲南のキャリアデザインプログラムが今年度よりスタート。実際にどのような活動が繰り広げられているのでしょうか。ここではその主な取り組みをご紹介します。

## ベーシック・キャリアデザイン科目 Basic career design

キャリア教育と言うと、目標とする企業に内定するためのサポートと思われるかもしれません。甲南大学がめざすキャリア教育はそれだけではありません。学生が自分自身の「ことや自分のやりたい」とを見定め、自ら積極的に活動していくために必要な力を磨く、広義のキャリア教育を実践しています。2007年度より正課として設置されたベーシック・キャリアデザイン科目は、まさに様々なワークなどを通して、「思考ゲームやテーブルディスカッション」など、さまざまなワークを通じて、「思考力」「行動力」「情報活用力」「コミュニケーション力」を育んでいきます。基本的に担当教員である中山一郎先生と専門資格を持つキャリアセンター職員がファシリテーター(促進者)としてプログラムを進めますが、

学部教員や卒業生をクラスに招き、「学部の専門性を生かしてどんな職業に就けるか」などを教わるチャンスも豊富です。現在までに本科目を受講した学生たちは「ヨミコニケーションのコツがつかめた」「将来を考えるきっかけになった」「物事をいろいろな角度から見られるようになった」など、前向きに生きる力を得たという喜びの感想が多く寄せられています。



Interview...



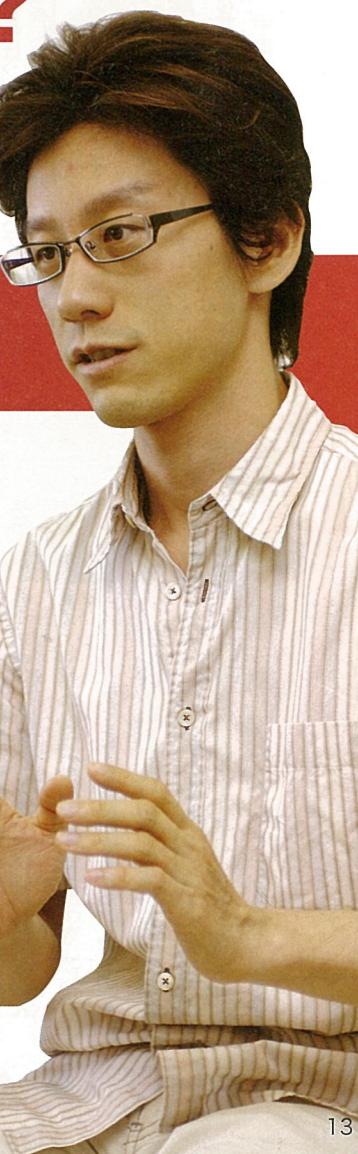
「ごく自然に、将来を計画的に考えるようになりました。」

ベーシック・キャリアデザイン科目は哲学みたいな授業で何かを体験しながら、まずは自分の「意志を伝えるためにはどうすればいいのか」などの問い合わせをしていくからです。例えば、隣の人が話しかけてくるのを無視し続けるペアワークの実習は、当たり前に思っていたヨミコニケーションを持つようになりました。また僕はこの授業を通して、将来はシルバーアクセサリーの製作や販売に関わっていきたいというビジョンを持つようになりました。いまはその実現のためインストラクターの資格を取り、人脉を広げ、ネットビジネスの知識を身につけていきたいと積極的に考えています。

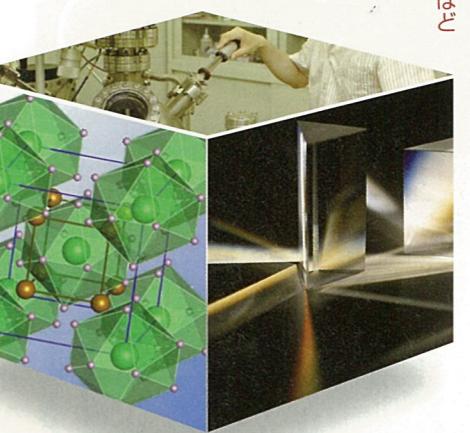
受講生インタビュー  
得田 武史さん  
文学部人間科学科  
1年次



# 未知の素材の性質を照らし出す光!?



暗い電灯の下ではよく見えなかつたものが、明るい太陽の下ではっきりと姿を確認できるよう、光が明るいほど私たちが多く情報を手に入れることがあります。でももしも太陽よりずっと明るい光があれば…どんなことが明らかになるのでしょうか。今回は最先端の物質研究について物理学科の山崎先生に尋ねました。



## 「もの」の性格は、電子が決める

皆さんの身の回りにあるすべての電化製品、そして自動車や家にも「電子」部品が使われています。しかし、「電子」とは一体なんでしょう

と呼びます。電子部品には、電子の動きを人間が制御しやすいようにした「半導体」が使われています。このように「もの」の大切な性質は電子が決めているのです。

私の研究では、この電子を一つひとつ取り出して、その正体を暴いていきます。これは光をあてて電子が飛び出していく「光電効果」という原理を使いつぶすため光電子分光と呼ばれています。ところが電子もなかなか手強く、化けの皮をかぶつたワソの情報を持つ電子(これらは「もの」の表面をうろついています)は取り出せても、その「もの」の性格を決めている真の電子は奥に深く潜つてなかなか出てきてくれません。真の電子を取り出して「もの」の正体を見るには、人間が20世紀後半になってはじめて手に入れた「放射光」という光を使うのです。

多くの人にとって「放射光」という言葉は耳慣れないものだと思います。しかし、この光こそ物理学、化学、生物学、医学などあらゆる科学分野でいま注目されているのです。その理由は、自然界に存在する光に比べて猛烈に明るい(まぶしい)ということ。太陽光に比べて100億倍も明るいのです。このような強烈な光はちゃんと管理された環境で使えば、たいへん有用と言えます。今まで時間をかけても暗くてなかなか見えにくかつたもの

## 人が生み出した、太陽の100億倍も明るい光

多くの人にとて「放射光」という言葉は耳慣れないものだと思います。しかし、この光こそ物理学、化学、生物学、医学などあらゆる科学分野でいま注目されているのです。その理由は、自然界に存在する光に比べて猛烈に明るい(まぶしい)ということ。太陽光に比べて100億倍も明るいのです。このような強烈な光はちゃんと管理された環境で使えば、たいへん有用と言えます。今まで時間をかけても暗くてなかなか見えにくかつたもの

## 「真の電子」がもたらすご利益とは?

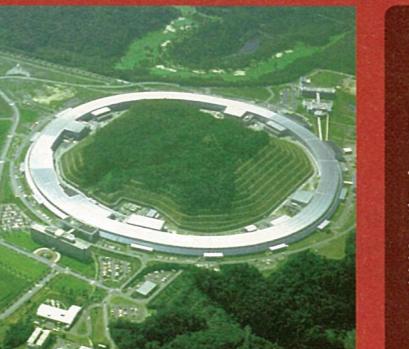
私の最近の研究では、ある物質中の電子がまったく異なる2つの性格(いわば2重人格)を持っていることがわかりました。この物質は、21世紀になって発見されたスクッテルダイトとよばれる金属です。奇妙な金属であることは発見当時からわかつていませんが、電子を取り出して調べることで、2重人格であること、なぜそうなったのかというメカニズムまで明らかにできました。2重人格の電子とすることは、それぞれの人格に適した仕事をさせれば、普通の電子よりも2倍(以上!)も効率よく働く可能性があります。この物質はいろいろなところで役に立つかもしれません。このように物質の奥底にいる真の電子を放射光を使った光電子分光により調べることで、新しい物質の性質を知り、それを応用することで私たちの身の回りの生活を豊かにすることができ

るようになります。

か? この世に存在するすべてのものは原子から成り立っていますが、電子はその原子を構成するひとつの部品。その役割は非常に重要で、もとも有名な仕事は電気を運ぶことです。電子が自由に動けさえすれば電気を運ぶことができます。そして電子が自由に動ける「もの」を私たちは「金属」

## Theme 1 放射光による物質の測定に、いま世界中が注目している光電子分光の可能性について

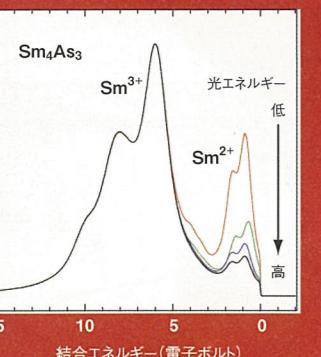
担当する講師  
理工学部物理学科 工学博士 山崎 篤志講師



**Point 1** 放射光による物質の測定に、いま世界中が注目している

**Point 2** 太陽の100億倍の光はこの基本原理から生まれる

**Point 3** 放射光により、物質の測定値はこう変わる



図はサマリウムという元素を含む化合物に対する光電子分光の理論計算の結果。光のエネルギーが大きいほど右側の山がぶつれ、本当の固体内部の電子の状態が観測できます。

**Point 1** 放射光による物質の測定に、いま世界中が注目している

**Point 2** 太陽の100億倍の光はこの基本原理から生まれる

**Point 3** 放射光により、物質の測定値はこう変わる

現在の実験施設ではこの基本原理を利用し、電子を周期的に小さく蛇行させるアンジュレータという設備を実現。極めて明るい特定波長の光を取り出すことに成功しています。



この問題について  
もっと知りたい人へ  
**山崎先生  
オススメ図書  
&サイト**



広島大学大学院理学研究科物性学専攻博士  
前期課程修了。住友金属工業株式会社の研究員を経て、大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。2年間、同研究科特任研究員を務め、甲南大学理工学部へ。

山崎先生の研究室をもっと詳しく知りたい方はこちら  
▶ [www.phys.konan-u.ac.jp/Densi/Welcome.html](http://www.phys.konan-u.ac.jp/Densi>Welcome.html)

誌面づくりに対する  
ご意見・ご感想

\*国という垣根が無くなり、やがて1つの地球という国になるためにも甲南生にはどんどん世界へ飛び出していくってほしい。(78年卒・女)

\*1979年に甲南イリノイプログラムに参加しました。その当時より留学内容が多様になっており、ずっと努力されてきたことが分かりました。一緒に参加した仲間とはいまでも交流があります。(80年卒・女)

\*海外協定校の多いことに驚きました。安心して海外で勉学できる環境が整い素晴らしいことだと思います。(ご父母)

\*「研究室訪問」は、社会の流れに応じた内容であり、また教授のアピールの場にもなっているので、読むのが楽しめます。(05年卒・男)

\*企業で仕事を経験された先生が実社会で必要とされる力について具体的に分かりやすく説明されていたので参考になりました。(ご父母)

\*子どもが入学したばかりで、授業の選択や専攻について悩んでいるので、そんな時に、アドバイスできるような記事があるとうれしいです。(ご父母)

\*イベントスケジュールが役立ちました。今度甲南キャンプに差し入れに行こうと思っています(元スタッフです)。(83年卒・男)

\*セネガルにコーナンの名前が付いた小学校開校の見出しを見て興味がわきました。(91年卒・男)

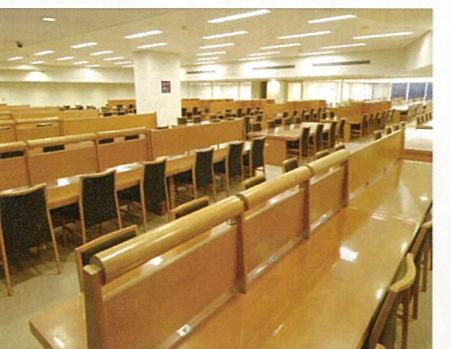
\*これからの中学生には、東アジアビジネスと日本との関わりの重要性を教育すべき。東アジアビジネスと日本に関する特集・連載を期待しています。(69年卒・男)

\*生協の上手な利用方法を教えてほしいです。あと、図書館の貴重蔵書なども興味があります。(ご父母)

\*スポーツで活躍する卒業生を取り上げてほしい。(92年卒・男)

「甲南Today」をお読みになったご感想や、誌面づくりに関するご意見などを広報部までお寄せください。

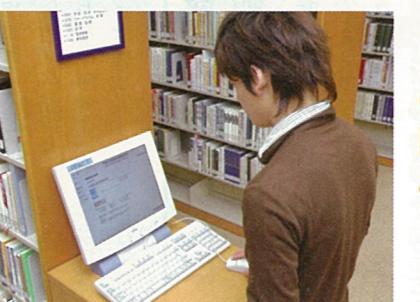
4. 地階の学習スペースも  
明るく開放的で心地よい空間に変身



5.  
視聴覚コーナーが  
さらに充実! ... 2f



11ブースから20ブースに増設しました。ブースはすべて一人用ですが、隣り合った2席で同じソフトが視聴可能。友だちと一緒に利用できます。



6.  
OPAC(蔵書検索)端末を  
閲覧席や書架の近くに分散配置し、  
より使いやすく

7. ノートパソコン30台の  
館内貸出がスタート!

卒業生・父母の方もどんどんご利用ください!

利用にあたっては、利用証が必要です。受付カウンターで、申込用紙に必要事項を記入の上、館員にお渡しください。なお、利用証の発行には1週間ほど要します。利用証の郵送もいたしますので、館員にお申し出ください(郵送料として実費80円が必要です)。

- 必要なもの 本人であることを確認できるもの(運転免許証、健康保険証等)
- 受付場所 本学図書館 1Fカウンター
- 受付時間 平日/9:00~18:00



●利用に関する詳しい情報は…

甲南大学 で検索し、図書館ページへ

<http://www.adm.konan-u.ac.jp/lib/index.htm>

皆さんから寄せられた疑問を徹底調査!

1.  
収容できる開架図書冊数が、  
これまでの2倍に!

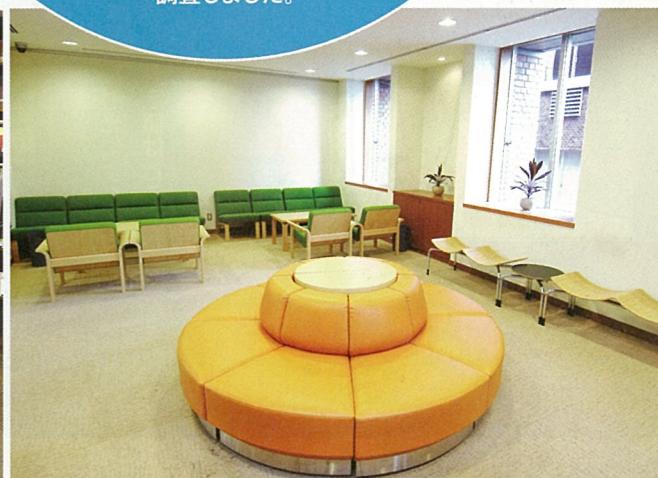
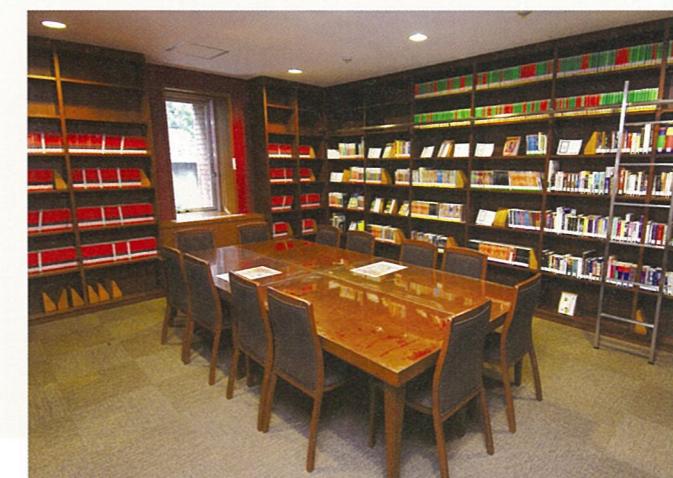
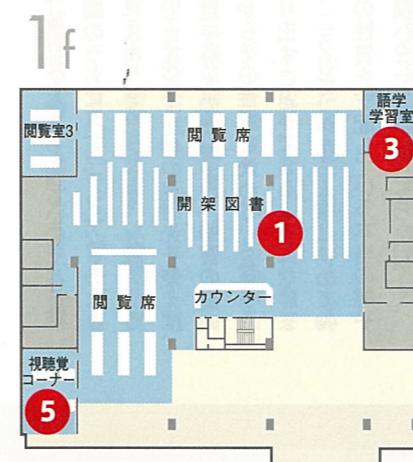
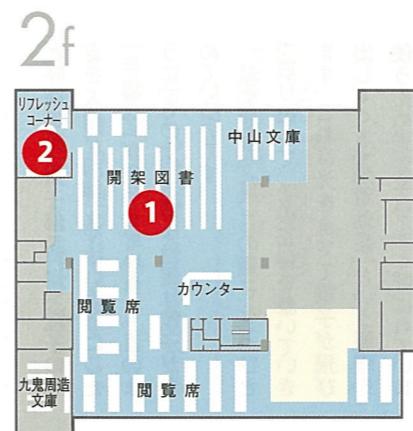
1階にあった中山文庫を2階に移設することで、1階の開架書架を増設。これにより中山文庫の収納可能冊数も増えています。また、2階の参考図書コーナーを拡充。開架図書の収容可能冊数が、従来の6万冊から12万冊へ倍増しました。



今回の調査依頼

リニューアルした  
図書館、以前とどこが  
変わったの?

「今年4月にリニューアルした図書館ですが、まだ使いこなせていません」「新しくどんなことができるようになったの」という声にお応えし、今回は新図書館のより充実した設備・新サービスを調査しました。



3. 楽しみながら英語が学べる  
「COSMOS ROOM」を新設! ... 1f

多読学習用の図書が閲覧できます。誰でも簡単に読め、しかも面白い図書を厳選して揃えているので、楽しく語学力を付けることができます。

※なお、COSMOS ROOMに配架している図書の購入に関しては、甲南大学父母の会様より多額のご支援を頂いております。

2. 疲れたら、ホッとひと息  
リフレッシュコーナー新設! ... 2f

2階にソファやカウンター席、飲料の自動販売機などを設置したりリフレッシュコーナーを新設しました。長時間の読書・勉学に疲れたときに利用してください。

## 写真部

**カメラに収めきれない想いを、ファインダー越しに見つめて。**

終戦後。国内カメラメーカーの急伸を背景に、甲南にもカメラファンが急増し、'51年に写真同好会が発足。2年後の'53年には早くも部への昇格を遂げた。創部期を知る'56年卒の梶木さんは「仲間はみんなとにかく写真に夢中でね。シャッターを切るだけで満足でかく写真をやろう、現像も自分でやろうと、アツきず、展示会をやろう、現像も自分でやろうと、アツ」という間に活動が広がった」と語る。

当時、カメラは高級品。手に入れるのもそう簡単ではなくつたに違いない。とはいっても、'64年卒の坂田さんの頃、部員数は70人を超えていた。「当時はドキュメント風の作品が流行りでしたが、自分は静物をテーマにしていましたし、風景や人物を撮る人などテーマはバラバラ」。彼らはモノクロの写真世界に、自己表現という情熱をぶつけていたのだ。ただ、硬派な面ばかりでもない。「酒と麻雀。こっちも写真と同じくらい熱心だったな(笑)」と坂田さんは写真部のもう一つの顔を明かす。また同期の岡さんは、学習院と年2回の交流写真展を行っていたことが忘れられない。「東京を訪れたときは、学習院生が気軽に自宅に泊めてくれた。夜はまた麻雀笑)、一気に仲間意識が深まった」。



2007年7月／新人展を成功させた現役生たち

作品を掲示することが共通の目標だ。卒業生の澤田さんはそんな彼らの話を聞きながら、「部展もいいけれど、学外のコンクールもたくさんあるわけだから、もっと賞を狙つていい」と提案する。ほかの先輩たちからも現役生に対し、いくつかのアドバイスやアイディアが出てきた。現役生も大きく頷きながら話を聞く。この日、先輩たちの想いをしっかりと受け止めた現役生たち。今後どんな活動を開いていくのか、その新たな歩みにぜひ注目したい。

で前例のない撮影合宿を企画・実行。「禅」をテーマとする作品を個々が撮り下ろし、これを組み合わせて展示したのだ。澤田さんたちの意気込みは、見る人が3000枚も撮つて、ベストを吟味する。そのエネルギーが作品に宿つた」と語る。写真というと個人の活動と思いがちだが、甲南大学写真部では仲間と協力して、作品を実現していく伝統がある。

### 写真部のコンセプトは「協調性」。

'86年卒の勝木さんは、これまで部展の会場としていた心斎橋のビルゼンギヤラリーが学生への貸出を中止するという危機に遭遇。「写真展示のメッカである心斎橋での出展はプロや一般の人たちに広く作品を見てもらえるチャンス。高額であっても、やはり心斎橋のギャラリーでやろうと全員の意見が一致した」。そこで仲間で自腹を切つて負担し合い、例年通りの部展写真が主流に。またカメラ自体の低価格化も進んだ。しかし、部員の結束力と活動熱は変わらない。'89年卒の新井さんたち部員は協力し合い、廃墟となっていた長崎の軍艦島(正式名称:端島)へわざるルートを探り、冒険家さながらのロケ撮影を敢行したのだ。「撮影現場に行くと、みんな鉄砲玉のように飛び出し、約束の時間にも帰つてこない。私もその筆頭でしたけどね(笑)」。

こうした先輩たちの活動熱は、デジタルカメラ世代のいまの写真部にどう受け継がれているのだろうか。「現在部員は10人です。先輩たちの頃に比べて人数は減りましたが、みんな独特の表現世界を持つているので、一緒に活動するのは面白いですね」と部長の荒川さんは語る。4年次の木村さんは、普段はわきあいあいと仲良く活動している部だが、例会のときだけは空気がピリピリするといふ。「お互いに、みんなに認められるようなレベルの高い作品を出していかないと、と思うから緊張するのです。いい意味で高め合っている感じ」。現役生たちは先輩たちと同様に全員で作品をつくっていく姿勢を強調する。

そして彼らはこうした環境の中、年に数回の展示会に向けて自分の作品づくりに取り組んでいく。現在は西宮市立北口ギャラリーで行われる部展に、最高の



機関誌「フォーカス」。見開きページの作品は、全日本優秀学校賞を受賞した組写真。

## 現役クラブ活動報告&お知らせ

### 9月までの活動報告

#### ● 体育会

弓道部	6/24	全国大学弓道選抜大会 準優勝
	8/7~8/9	全日本学生弓道選手権大会 女子個人 3位 屋敷尚子
陸上競技部	6/8~6/10	天皇賜杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会 ○女子 若林愛 400m 56"79 8位 400mH 59"86 7位
		○4×100m 柏木、赤崎、大岡、橋本 8位
		○4×400m 赤崎、新谷、若林、大岡 4位
	6/29	第91回日本陸上競技選手権大会 ○400m予選 若林愛が55秒47の兵庫学生新記録を樹立
水泳部	7/27~29	第81回関西学生選手権水泳競技大会 2部優勝 1部昇格
漕艇部	8/5	関西選手権競漕大会 男子ダブルスカル2位
	8/26	全日本大学選手権大会 男子ダブルスカル4位
柔道部	6/23、24	全日本学生柔道優勝大会 甲南大2-富士大3-1回戦敗退
● 文化会		
書道部甲墨会		第12回全日本高校・大学生書道展 団体賞(出品点数9,653点)
JAZZ研究会	8/18~8/19	YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST15位

### 10月以降の予定

#### ● 体育会

アーチェリーパー	10/14	第42回全兵庫大会(しあわせの村球技場)
器械体操部	10/21	第33回三大学定期戦(甲南大学講堂兼体育館)
馬術部	10/31~11/1	第57回全日本学生賞典障害飛越競技大会(JRA馬事公苑・東京都)
日本拳法部	10/28	第23回全日本学生拳法個人選手権大会(名古屋市枇杷スポーツセンター)
少林寺拳法部	10/7	全日本学生少林寺拳法大会(日本武道館)
バレーボール部	10/7、8、14、28	関西大学男子バレーボール秋季リーグ戦
ハンドボール部	10/6	関西学生ハンドボール秋季リーグ戦(関西福祉科学大学)
サッカー部	10/14、21、28、11/4、11、18、24	関西学生秋季リーグ
弓道部	10/7 10/28	リーグ戦 順位決定戦

#### ● 文化会

文学研究会	10月	機関紙配布
古美術研究会	10/14	公開見学会(京都南禅寺)
ユースホステリングクラブ	10/20~21	ファイナルキャンプ
JAZZ研究会	10/28	六甲アイランドハロウインフェスティバル(神戸六甲アイランド・リバーモール公園周辺)

※文化会課外活動団体の多くは大学祭(11/21~11/25)において、展示発表やコンサートなどを行います。

# 甲南学園の歴史と文化をつくった人々

前回の優秀な学者に続いて、代表的な医学者3人を紹介します。昭和10年代までの甲南高等学校生は医師を目指す人が多く、理科乙類というクラスがありました。今回の3人はいずれも専門分野で《功成名遂げた》東大医学部の名誉教授。うち2人は宮内庁の御用掛として皇室の医務に携わりました。理論や医術に秀でただけでなく、德育重視の平生精神を身につけ、人格、識見共に兼ね備えていた証拠でしょう。

## 小林 隆

明治42年4月26日生まれ。  
昭和4年(第4回)甲南高等学校理科卒。平成4年没。



昭和8年東大医学部卒。産婦人科学専攻。産科学婦人科第一講座教授。日赤産院院長兼乳児院院長。日赤医療センター院長・名誉院長。日赤に看護大学を設立し学長に。多彩な看護士、助産婦を送り出しています。昭和56年勲二等瑞宝章受章。子宮頸ガンの手術法を開発したほか、卵巣機能解明に尽力しました。昭和34年、現皇后の美智子妃殿下が現皇太子出産の際は、主治医を務めました。

## 織田敏次

大正11年3月16日生まれ。  
昭和16年(第16回)甲南高等学校理科卒



昭和19年東大医学部卒。アメリカ留学後、東大内科学教授。附属病院長。医学部長。57年退官後、日本赤十字社医療センター院長、日本内科学会会頭、国際内科学会会長。肝臓の構造、機能、肝炎ウイルスを研究した「肝臓の世界的権威者」。特に輸血によるB型肝炎の予防ワクチン開発成功は、現在恩恵を受けている人が数知れません。平成5年文化功労者、6年学士院会員、8年勲一等瑞宝章、紫綬褒章受章。昭和天皇の重病時は治療に当りました。織田さんは甲南の同級生会誌「いちご」に再三寄稿していましたが、甲南生時代「何かを創りたい、創らねばならない」として辿りついたのが「人間の修理屋」だったと回顧。「医の倫理」について《信こそ医の命》《情こそ医の涙》《学こそ医の力》《理こそ医の砦》だと思う。進学に際し「大学を選ぶのではない。先生を選べ」と正田先生に言われ、内科医を師に選んだと言っています。肝炎ウイルスについては「先人が1世紀探し求めてきたが他愛もない、血中を泳いでいた。ワクチンはこれを集め、非感染性の無害の蛋白にするだけだった。お陰で母子感染は完全に予防出来、医療費削減にも貢献できた」と書いています。ただ「医とは元来が死とは相入れない学問。いかに進歩しても皆さんの不満は尽きないし、逆に高まる。それが医学の宿命だ」とも。

## 津山直一

大正12年12月8日生まれ。  
昭和17年9月(第18回)甲南高等学校理科卒。平成18年没



昭和21年東大医学部卒。東大病院整形外科医。ロンドン、ミュンヘン留学後、東大教授。麻痺肢体の機能再建手術、脊椎外科を手がけた整形外科学会の長老。リハビリテーションに専門を持ち、59年退官後、国立身体障害者リハビリテーションセンター総長・名誉総裁。中国のリハビリテーションセンター建設にも貢献、指導教育をしました。「障害者問題は地球的な問題」と言い、障害者は世界中で増え続け、人口の4%も、と推定。高齢化が大きな原因だが、産業災害、交通事故、スポーツ災害を不可抗力的な問題として切り捨てる社会は恐ろしいと言っています。リハビリは、温泉療法、運動療法など医学的なことを想像する人が多いが、それはほんの一端。心理的、教育的、社会的な多角的対処し、社会でその人に適した能力が發揮出来るようにしなければ、と津山さん。「何を失ったかでなく、何が残っているか」を基本に、「残っているものとフルに活用することは、本人でなければ出来ないことだ」と説いています。

義ある一大調査にかかることができたのは忘れられません。また、調査以外にもいろいろな思い出があります。薬師寺で高田好胤先生のお話を聞いたり、花会式のお手伝いをしたり、東大寺で筒井寛秀先生から拓本の取り方を教わったり…。古美研に所属していなければこんな貴重な体験はできなかっただろう。

## 甲南の先生方との出会いがいまの自分の礎に

大学時代は、いろいろな人と出会いを求めていた時期。感受性が強い時期に、個性的で魅力ある多くの先生方と巡り会えたことは私の財産になりました。先生方を見て「学者、

研究者というのはこういう人たちか」と学び、同じ空気を吸っているだけでもうれしかったことを覚えていました。とくに古美研の活動をサポートされていた和高伸二先生との出会いは、私の人生を方向づけるものでした。先生の「モノから学べ」「モノに語らせる」という言葉は刺激的でした。それまでは、誰かの書いた解説や論文を鵜呑みにし、それで作品を理解したと思っていましたが、それは表面的なこと。本当に深く理解するためには、つたなくとも自分の言葉で語ることが必要だと教わりました。

大学卒業後は、その和高先生の紹介で美術の道へ進むことに。勤めながら通信教育で芸術家資格を取得し、やがて美術館の運営などの仕事をにかかわるようになりました。一方で日本の版画家に関する研究をしていましたが、和高先生から教わった作品や現場から出発し、地道に研究を進める姿勢は変わらず私の中に生きています。

こうして振り返れば、甲南にはやりたいこと、進みたい道があれば、誰かがそれを後押ししてくれるようないいことがあります。夢がかなうステージとでも言うのでしょうか。これを読んでいる現役生の方々も、いまま好きなことがあるなら諦めず、甲南というチャンスを利用して努力し続けてほしいと思います。

## Profile

1970年甲南大学文学部社会学科卒業。社団法人和歌山県文化財研究会書記。和歌山県教育委員会文化財課技師、和歌山県立近代美術館学芸課長、国立国際美術館学芸課長、国立新美術館設立準備室副室長。2006年国立新美術館副館長就任。主な研究業績:「田中恭吉作品集」(編著 玲風書房)「泉茂版画作品集」(編著 和歌山県立近代美術館)「近代日本版画の諸相」(共著 中央公論美術出版)「浜口陽三全版画作品集」(編著 中央公論美術出版)「バリト私 浜口陽三著述集」(編著 玲風書房)など。

二コースなどで存知の方も多いと思いますが、国立新美術館は今年1月にオープンしたばかり。所蔵品を持たない代わりに、1万4千平方メートルという国内最大級の展示施設を備えているのが大きな特色です。日展(日本美術展覧会)をはじめ、全国規模の公募展や新聞社が主催する大規模な企画展を開催するほか、館独自の企画展もフレキシブルに実施できます。この自由度の高い

第一線で活躍する卒業生に「自身の生き方についておしゃがいする」この「コーナー」。今回は、今年1月にオープンした国立新美術館で副館長を務める三木哲夫さんにインタビュー。所蔵品を持たない、まったく新しい美術館の立ち上げに、企画からオーブンまでかかわってきた経験。現在のお仕事や甲南時代の思い出などについて語っていただきました。

## 「モノから学べ」。その言葉は、私の生き方になりました。

いま話題の国立新美術館。その立ち上げから参画

兵庫県下の社寺の調査活動に

のめり込んだ学生時代

甲南に入学したのは、高校時代に

和田邦平先生からお聞きした古美研

（文化会古美術研究会）の存在も大き

きな要因でした。古美研は、神社仏閣

に伝わる彫刻・絵画・建築・庭園などを研究するクラブです。当時の部員

は100人以上いました。この組織

力を生かして兵庫県下のすべての寺

社の建築・仏像などの様式・時代を

もれなく記録していくという学生が

やるには壮大な調査活動をしていま

した。調査は4人くらいのグループを

組んで各地の寺社をバスや電車で回

り、担当の寺社が来ると次々に降ろ

されて現地の調査に当たっていくとい

うやり方でした。私も仲間に刺激を

受けた熱心に取り組みました。

現重文の仏像を発見するなど、意

思っています。

取り入れました。佐藤可士和さんによるシンボルマークやロゴデザインの決定、800脚を超すデジマーケの椅子の選択、レストランやカフェ、ミュージアムショップの選定など、彼の意見が強く反映され、その結果、既存の美術館とはひと味違ったものが生まれたように思います。

オープニングして6ヶ月、おかげさまでに来館者数は170万人を突破しました。これでひとまず副館長としての責任を果たせたと思います(笑)。今後はより多くのお客様に喜んでいただけるよう美術館運営の指導やアドバイスを行いながら、忙しくて手をつけられなかつた自分の専門分野の研究も進めていきたいと思っています。



国立新美術館副館長  
三木 哲夫  
Miki Tetsuo  
1970年甲南大学文学部社会学科卒業





卒業生が経営する企業や商店が出店する物産展。多くの人で賑わいました。



甲南学園の歴史を展示。多くの卒業生たちがかつての母校を懐かしくご覧いただきました。

#### 出店企業一覧 (50音順)

- アンクル・カント企画
  - (株)井出商店
  - (株)エフエルエス
  - オリバーソース(株)
  - (株)亀井堂總本店
  - (株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ
  - クラウンプラザ神戸
  - 甲南大学生活協同組合
  - (有)KOBE G.G.
  - 小林製薬(株)
  - 昇榮堂
  - 白雪食品(株)
  - 新興貿易(株)
  - 大日本除虫菊(株)
  - 松原商会
  - ヤマヒデ食品(株)
  - やよい工房
  - 淀屋橋健康増進センター
- ありがとうございました。



神戸出身の女流講談師「神田紫」氏の巧みな話し口は、集まった誰もがすっと引き込まれるほど。会場が静まったくと思えば、ドッと笑いに包まれました。



○オール甲南夢舞台では現役クラブ生だけでなく、卒業生たちも参加し、パフォーマンスを披露しました。



○オール甲南夢舞台では現役クラブ生だけでなく、卒業生たちも参加し、パフォーマンスを披露しました。

# 甲南の集い オール

卒業生、ご父母、現役生…  
甲南ファミリーがキャンパスに集い  
大同窓会を今年も開催



当時は約1,000名のご父母がキャンパスを訪れ、大学の教育方針、今後の取り組みなどについての説明を聴講。熱心にメモを取る方も多く見られました。



個別就職相談にも多くのご父母が関心を持たれ、参加。専門知識を持つキャリアセンター職員がひと組ず丁寧に対応しました。



法廷教室での模擬授業や各クラブ活動の舞台など、学生たちの日頃の活動を垣間見るさまざまなイベントをお楽しみいただきました。

# 教育懇談会

2007年度

学修・就職・進学・留学など  
さまざまな疑問にお答え

KONAN  
甲南フォーラム  
FORUM

5月19日(土)、2007年度甲南

大学教育懇談会を開催しました。こ

の催しは、「父母の皆さんに本学の教  
育理念や学生のキャンパスライフにつ  
いての理解を深めていただく」ことを目  
的として毎年開催しているもので、今  
年も全国各地より多数の参加があり

ました。開会式では杉村芳美学長か  
ら現在大学が行っている教育の取り組  
み、建学の精神に基づいた個性を伸ば  
す教育の実践などについてお話をあり  
続いて吉沢英成理事長が大学教育の  
意義を語り、在学中に身につけてほし  
いことなどをメッセージしました。

開会式の後、「父母の多くは学部別  
プログラムに参加。より詳細な学びの  
内容についての説明や個別の学修相  
談などを受けられました。また」

このほかにも法科大学院棟、カウン  
セリングセンターなどの大学施設の見  
学や学生のクラブ活動の発表、甲南  
21クリエイティブプランの発表などさ  
まざまなプログラムを開催。キャンバ  
スを訪れたご父母は関心のある内容  
についての催しだけではなく、普段接す  
ることのないキャンパスライフに触れ、  
一日を楽しんでいただきました。

年に一度開催している甲南ファミ  
リーの大同窓会「オール甲南の集い」  
を5月27日(日)に開催しました。神  
戸出身の女流講談師、神田紫氏に  
よる環境講談「もつたない善兵衛」  
では、江戸時代を舞台に語られるユ  
ニークなストーリーに大笑いしながら  
も、身近な環境について考える貴重  
な機会となりました。またもう一つの  
注目イベントは、甲友会館大ホール  
で行われた「オール甲南夢舞台」。例  
年通り、甲南ブラスアンサンブル、チ  
アリーディング部、女声合唱団アモ  
ローグなどのクラブの現役生が日頃  
の練習の成果を発表したほか、今年  
は卒業生によるハワイアンバンド「ア  
ロハ・スティング・スター」やラテン  
ミュージック「Asa festoon」も登場。  
現役生と卒業生のジョイントコン  
サートで会場を大いに沸かせました。  
甲南学園の歴史を写真などで振り  
返る「展示コーナー」では学生生活を  
懐かしむ卒業生たちの姿が見られ、  
ミニサッカー大会、キッズランド、お  
祭り広場などは子どもと一緒に楽し  
む家族連れで大にぎわい。このほか  
クラブやゼミなどに開催されている  
OB・OG会に参加し、旧友・恩師と  
の再会を懐かしむ人たちが多くお  
られました。今年参加できなかつた  
方も、いい思い出を残された方も、ま  
た来年、岡本キャンパスでお待ちし  
ています。



ゼミごと、クラブごとの同窓会も同時に開催されました。右は文学部都染直也先生と教え子の皆さん。左は歌舞伎文楽研究部OB・OGの皆さんです。



バルーンアートコーナーは子どもに大人気



白熱したミニサッカー大会

これからの教育懇談会 (予定)	文化講演会 (予定)
10/7日	[東海・中部地区] 名古屋 ガーデンパレス
10/7日	[四国地区] 全日空ホテル クレメント高松
11/4日	[中国地区] 岡山 ロイヤルホテル
11/4日	[南近畿地区] 和歌山東急イン

※該当地のご父母の方には別途お知らせいたします。



中川さんご夫妻(文学部1年次)



中村さんご夫妻(経済学部1年次)

今日はキャリアアップセミナーに参加しました。勉強だけでなく、就職についても手厚いサポートが用意されているのがうれしいです。

子どもが今年から入学したので、懇談会に参加しました。このキャンパスは環境がいいですね。指導方針もよくわかり安心しました。

参加されたご父母の声

子どもが学んでいる  
キャンパスを見に来ました。

就職に関する支援も  
しっかりと感じました。

子どもが学んでいる  
キャンパスを見に来ました。

**昨**年度に引き続き芦屋との連続講義を実施

7月31日(火)から8月2日(木)の3日間、県立芦屋高等学校と連携して、5学部6名の教員による連続講義を実施しました。今年度は、芦屋高等学校の生徒だけでなく保護者にも門戸を広げ、1・2年生の学生とも保護者が131講義室にて連続講義を受けました。最終日には代表の生徒に杉村学長より修了証が授与され

ジョン・マコヴィック氏が  
(アメフト米国代表ヘッドコーチ)

アメリカンフットボールW杯  
2007川崎大会にて優勝を果たし  
た米国代表チームのジョン・マコヴィツ  
ク・ヘッドコーチが、7月20日(金)～22  
日(日)、8年ぶりに甲南大学を訪問  
し、アメリカンフットボール部への練習  
指導や、体育会のコーチ指導者を対  
象に講演会を行いました。最終日に  
はOB会等が主催するレセプション  
が開催され、マコヴィック  
氏との交流を深めまし

本国代表ヘッドコーチ

赤崎 元美さん（文学部4年）

柏木文恵さん（文学部2年）  
新谷梨紗さん（経営学部2年）  
大岡沙織さん（文学部1年）  
橋本美奈さん（文学部1年）

新谷梨紗・大岡沙織は、6月10日立霞ヶ丘競技場で行われた天皇杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会、女子1600メートルリレー決勝において、3分45秒29のタイムで4位（甲南大学歴代1位）のマークとして活躍。また、柏木文恵・本美奈・大岡沙織は、同大会女子400メートルリレー決勝において46秒72のタイムで8位入賞。

清水 貴裕さん（経済学部4年）  
松井 隆昌さん（経済学部3年）  
甘利 斎久さん（経済学部2年）  
岡田 佑太さん（経済学部1年）  
樽谷 久翔さん（理工学部1年）  
藤川 喬章さん（文学部2年）  
棚原 健二さん（経済学部2年）

6月24日（日）、明治神宮至誠館で  
行われた第19回全国大学弓道選抜  
大会男子団体において準優勝を果たした。

**硬式野球部**がタイのナショナルチームへ観戦試合



第142回現代講座

## 第142回現代講座

卒業生の脚本さん  
小説が映画化

8月19日(日)から20日(月)まで、名古屋東山公園ニースで開催された第34回全国中学校選手権大会で、甲南中学校が団体戦にて成蹊中学校を下し、昨年に引き続き、2度目の優勝を飾りました。昨年、25年ぶりの全国制覇しています。

**甲** 南中学校

大学生を中心にチームを構成し、選手の育成強化に取り組んでいます。このたび、京都丹後市で強化合宿を行っていたタイ・ナショナルチームからオファーを受け、親善試合が実現しました。

試合は10対0で硬式野球部が勝利しました。



1

競技部



學長顯彰

7月3日(火)、特別会議室において、課外活動を通して優秀な成績を修めた学生に対して、学長顕彰が行われました。顕彰されました学生が

工期：2007年6月11日(月)から  
2008年12月25日(木)



## キャリアセンタースケジュール

田オリンピックボードコース(埼玉県)  
にて行われました第34回全日本大学選手権大会(主催 社団法人日本ボート協会)において、中内隆人さん(文学部・4年)と笠間健さん(理工学部・3年)ペアがダブルスカル種目におきまして第4位に入賞しました。インカレでの決勝ファイナル進出は約40年ぶりの快挙です。



左: 理工学部 3年  
笠間 健 (H20. 主将)  
右: 文学部 4年  
中内 隆人 (H19. 主将)

8月23日(木)から26日(日)に、戸田オリンピックボードコース(埼玉県)にて行われました第34回全日本大学選手権大会(主催 社団法人日本ボート協会)において、中内隆人さん(文学部・4年)と笠間健さん(理工学部・3年)ペアがダブルスカル種目におきまして第4位に入賞しました。インカレでの決勝ファイナル進出は約40年ぶりの快挙です。

## 漕艇部が全日本大学選手権大会で4位入賞

## 【プログラム】

- 導入講義・ナノバイオテクノロジーとナノバイオケミストリー
- ナノバイオ分子の観測と計測
- トップダウンテクノロジーとボトムアップテクノロジー
- バイオテクノロジーとナノバイオ治療
- 機能性ナノバイオテクノロジーとナノバイオ分子の合成とナノバイオセンサーの開発

(9月13日・東京 / 9月20日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(11月8日・東京 / 11月15日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(11月22日・東京 / 11月27日・本学)

(10月25日・東京 / 10月29日・本学)

(10月11日・東京 / 10月18日・本学)

(10月23日・東京 / 10月30日・本学)

(